

第八十二回帝國議會 衆議院

國民貯蓄組合法中改正法律案外一件委員會議錄(速記)第二回

昭和十八年二月十三日(土曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 由谷 義治君

理事木下 義介君 理事西尾 末廣君

理事山口左右平君

池田正之輔君 片山 一男君

下出 義雄君 長野 高一君

南郷 武夫君 古田喜三太君

山田 順策君 山野 平一君

吉田貞次郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 谷口 恒二君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君

大藏書記官子爵 戸田 忠肅君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

納稅施設法案(政府提出、貴族院送付)

昭和十六年度第一豫備金支出ノ件

昭和十六年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十六年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十七年度第二豫備金支出ノ件

昭和十七年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十七年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

(承諾ヲ求ムル件)

○由谷委員長 是ヨリ本委員會ヲ開會致シマス、此ノ委員會ニ委託サレマシタ議案ハ、國民貯蓄組合法中改正法律案、納稅施設法案及ビ事後承諾ヲ求ムル件デアリマス、政府ノ説明ヲ承リマス

○谷口政府委員 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ國民貯蓄組合法中改正法律案外一件ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ説明致シマス

現下政府各般ノ施策ノ重點ハ、大東亞戰爭ノ完遂ヲ目的トスル戦力ノ増強ト云フ一點ニ集中致サナケレバナラスコトハ、今更申上ゲルマデモナイ所デアリマスルガ、是ガ爲ニハ國民貯蓄ノ増強ニ力ヲ致シ、國民ノ納稅義務ノ履行ヲ容易ナラシメ、以テ戰時財政經濟ノ圓滑ナル運行ヲ確保スルコトガ、最モ肝要ト存ズルノデアリマス、此ノ見地ニ基キ、政府ニ於キマシテハ、從來ト雖モ各般ノ有效適切ナル施策ヲ講ジツツアリマスルガ、現下決戰態勢下ニ於ケル諸般ノ要請ニ應ズル爲ニハ、尙ホ不十分デアリマス

先ヅ國民貯蓄組合法中改正法律案ニ付キ、御説明致シマス、國民貯蓄増強上ノ施設トシテ、國民貯蓄組合ガ戰時下極メテ重要ナル使命ヲ果シツツアリマスルコトハ、多ク説明ヲ要シナイ所デアリマスルガ、時局ノ進展ニ伴ヒ、貯蓄増強ノ要愈、緊切ヲ加ヘマシタル折柄、政府ニ於キマシテハ、本制度ニ依ル組合貯蓄ノ増加ヲ、更ニ一層促進致シタイト存ジマシテ、茲ニ本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス

其ノ改正ノ要點ヲ舉ゲマスレバ、第一ハ國民貯蓄組合ノ轉換ニ依ル貯蓄ニ關スル課稅上ノ特典ヲ擴張致シマシテ、其ノ利子又ハ利益ニ對シマシテハ、元本七千圓ヲ超エザル限り、所得稅ヲ賦課セザルコトト致シタ點デアリマス、國民貯蓄組合ヲ通ズル貯蓄ハ、其ノ性質上零細ナル資金ノ集積デアリマシテ、且ツ相當長期間ニ互リ固定セラレモノデアリマスルカラ、課稅關係ニ於テモ郵便貯金、銀行貯蓄預金等ノ如ク分類所得稅ノミナラズ、綜合所得稅ヲ賦課セザルヲ適當ト認メタノデアリマス

第二ハ勤務先預金ノ統制ニ關スル規定

(一一一)

付託議案

國民貯蓄組合法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六九號) 納稅施設法案(政府提出、貴族院送付)(第七〇號) 昭和十六年度第一豫備金支出ノ件 昭和十六年度特別會計第一豫備金支出ノ件 昭和十六年度特別會計豫備費支出ノ件 昭和十七年度第二豫備金支出ノ件 昭和十七年度特別會計第一豫備金支出ノ件 昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

(承諾ヲ求ムル件)

ヲ新タニ設ケマシテ、此ノ種預ケ金ハ、向後原則トシテ國民貯蓄組合ノ斡旋ニ依リ受入ルベキモノトナシ、其ノ受入ノ方法又ハ受人レタル資金ノ運用ニ關シマシテハ、必要ナル指示ヲナシ得ルコトト致シマシタ點デアリマス、會社、工場等ニ勤務スル者ガ、當該勤務先等ニ對シテ預ケ金ハ、近時特ニ増加ノ傾向ニアリマスルガ、之ニ關シテハ從來殆ド無統制ノ儘放置セラレテ居リマシタノデ、此ノ際之ヲ貯蓄組合トノ關聯ニ於キマシテ、其ノ資金ノ活用ニ關シ、必要ナル規制ヲナサントスルモノデアリマス

第三八、組合構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シテハ、必要ニ應ジ加入命令ヲモナシ得ルコトト致シマシテ、貯蓄組合體制ノ完備ヲ期セントスルモノデアリマス、其ノ他市町村單位ノ地域組合ノ組織ヲ認ムルコト、組合貯蓄ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、一定ノ外國有價證券ノ買入ヲ追加スルコト、一定範圍組合關係者ヲモ、監督指導ノ對象トスルコト等ヲ、其ノ内容トスルモノデアリマシテ、之ニ依ツテ國民貯蓄組合ノ組織並ニ運営ノ適宜化ヲ圖リ、以テ戰時貯蓄ノ増強ニ資セントスルモノデアリマス

次ニ納稅施設法案ニ付キ、御說明致シマス、國民ノ租稅負擔ハ、戰時下ニ於ケル財政需要ノ増加ニ伴フ屢次ノ増稅ニ因リマシテ、急激ニ増大シ、國民ノ經濟生活上、租稅負擔額ハ相當大ナル部分ヲ占ムルニ至ツタノデアリマス、隨ヒマシテ、國民ハ戰時下ニ於ケル經濟生活ニ於キマシテハ、常ニ納稅ニ對スル準備ヲ怠ラザルコトガ、極メテ肝要デアリマスコトハ申スマデモナイ所デアリマスガ、政府ニ於キマシテモ、國民ノ納稅ノ履行ヲ容易ナラシメ、併セテ國民貯蓄ノ増強等ニ資スル爲メ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス

政府ハ從來ニ於キマシテモ、國民ノ納稅精神ノ昂揚ヲ圖ルト共ニ、納稅組合ノ普及勸奨其ノ他各種ノ行政的施策ニ依リ、納稅資金ノ蓄積ト滯納防止ニ力ヲ盡シテ參ツタノデアリマス、併シナガラ是等行政的施策ノミニテハ、未ダ十分ニ其ノ實效ヲ擧ゲ得ザルノミナラズ、他方豫メ納稅資金ノ準備ヲ爲シ置クコトニ關シ、適切ナル制度ガ完備シ居ラザル實情等ヲ省察致シマシテ、今回政府ハ納稅施設法ヲ制定シ、以下申述ベマスルガ如キ事項ヲ、綜合規定スルノ必要ヲ認メタ次第デアリマス、以下本法律案ノ内容ニ付キ、其ノ概要ヲ御說明申上ゲマス

第一ハ納稅ニ關シ、公共的事業ヲ行フ町内會、部落會及ビ納稅組合ヲ、納稅團體ナル法制上ノ團體トシテ認メ、之ニ對シテハ政府ニ於テモ助成ノ途ヲ講ジマスルト共ニ、納稅團體ニ於テ管理スル納稅資金ノ保有方法ニ付キマシテハ、其ノ確實ヲ期スル爲メ、一定ノ制限ヲ設ケマスル等、指導監督上必要ナル事項ヲ規定シ、納稅團體ノ普及並ニ發達ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス

第二ハ、法人ニ對シマシテ、當該法人ノ納付スベキ法人稅等ノ納稅準備ノ爲メ、決算確定ノ際、一定割合ノ納稅積立金ノ積立ヲ爲サシメ、其ノ積立金ノ一部ハ之ヲ納稅準備預金ヲ以テ、保有スベキ義務ヲ負ハシメマシテ、納稅ヲ容易確實ナラシメ、併セテ會社經理ノ適正ニモ資セントスル次第デアリマス、尤モ右ノ積立及ビ預金ノ保有ニ付キ、一舉ニ納稅見込額ノ全額ヲ強制致シマスコトハ、法人ノ經理上急激ナル變動ヲ與フルコトニナリマスノデ、之ニ付テハ經過

的ニ緩和ノ措置ヲ講ズルノ要アルヲ認メマシテ、適當ナル考慮ヲ拂フコトト致シタノデアリマス

第三ハ、専ラ租稅公課ノ納付ニ充テルコトヲ目的トスル納稅準備預金ナル新種預金ヲ創設致シマシテ、之ニ對シテハ比較的有利ナル利子ヲ付シ、且ツ其ノ利子ニ對シテハ、免稅ノ特典ヲ附與シ、又本預金ヲ受入ルル金融機關ヲシテ、預金者ノ爲ニ租稅公課ノ納付ニ關スル事務ヲモ取扱ハシメマスル等ノ便宜ヲ與フルコトト致シタノデアリマス、之ニ依リマシテ納稅者ニ對シ、納稅ニ付キ有利ニシテ且ツ便宜ナル手段ヲ提供シ、以テ納稅ノ準備ヲ爲サシメントスル次第デアリマス

第四ハ、戰時財政經濟ノ運営上、所要資金ノ圓滑ナル調達ヲ圖ル爲ニハ、租稅ノ形態ニ依ルノ外、其ノ更ニ大ナル部分ヲ國民貯蓄ノ増強ニ俟ツノデアリマスガ、今回新ニ租稅ノ納付ト、國民貯蓄ノ増強トヲ關聯セシメマシタル一ツノ新シイ施設トシテ、租稅ノ貯蓄納付制度ヲ創設致シマシテ、是ガ目的遂行ニ寄與センコトヲ期シタ次第デアリマス

本制度ノ内容ハ、特定ノ所得稅、臨時利得稅等ノ納稅者ガ、其ノ稅額ノ二倍、或ハ三倍ニ相當スル金額ノ貯蓄、即チ戰時納稅貯蓄ヲ爲シタ場合ニ於キマシテ、當該租稅ノ納付ト同一ノ效果ヲ生ゼシメルニアルノデアリマス、之ニ依リ國民ノ納稅義務ノ履行ヲ容易ナラシムルト共ニ、他面國民貯蓄ノ積極的ナル増強ト、財政資金ノ圓滑ナル調達ヲ圖リ、併セテ家産ノ造成ニ資シ、或ハ年金類似ノ作用ヲ有スル貯蓄トシテノ機能ヲ發揮セシメントスルモノデアリマス、

以上御說明申上ゲマシタル二件ノ法律案ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上速ニ御賛成アラシコトヲ希望致シマス

尙ホ次ニ昭和十六年度第一豫備金支出ノ件外事後承諾ヲ求ムル件五件ニ關シマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大體ノ御說明ヲ致シテアルノデアリマスガ、當委員會ニ付託サレマシタニ付キマシテ、此ノ際改メテ御說明申上ゲタイト存ジマス

昭和十六年度一般會計第一豫備金ノ豫算額ハ四千萬圓デアリマシテ、内昭和十六年勅令第八百二十二號ニ依リ補充致シマシタ金額ハ三千九百九十餘萬圓デアリマス

今其ノ主ナル事項ヲ舉ゲマスレバ、内務省所管ニ屬スル警察費連帶支辨金千二百餘萬圓、文部省所管ニ屬スル國民學校教員俸給分擔金七百二十餘萬圓、厚生省所管ニ屬スル軍事扶助費五百五十餘萬圓等デアリマス

次ニ昭和十六年度各特別會計第一豫備金豫算ノ總額ハ、一億千九百九十餘萬圓デアリマシテ、内各費途ニ補充致シマシタ金額ハ、印刷局外二十一ノ特別會計ニ互リ、合計二千九百三十餘萬圓デアリマス、又昭和十六年度各特別會計豫備費豫算ノ總額ハ、一億五千四百十餘萬圓デアリマシテ、内各費途ニ充用致シマシタ金額ハ、陸軍製鐵廠、米穀需給調節、通信事業、帝國鐵道及ビ臺灣米穀移出管理ノ五特別會計ニ互リ、合計四千三百三十餘萬圓トナツテ居ルノデアリマス

次ニ昭和十七年度一般會計第二豫備金ノ豫算額ハ、八億圓デアリマシテ、内昭和十七年四月二十二日ヨリ同年十二月二十四日ニ至ル間ニ於テ支出致シマシタ金額ハ、六億四千八百餘萬圓デアリマス、其ノ主ナル事項

ヲ申上ゲマスレバ、外務省所管ニ屬スル外交官等交換諸費七百六十餘万圓、内務省所管ニ屬スル地方職員臨時家族手当補助千八百三十餘万圓、地方職員臨時勤勉手当補助五百餘万圓、大藏省所管ニ屬スル損害保險國營再保險特別會計へ繰入五千五百五十餘万圓在支敵産購入費四億圓、文部省所管ニ屬スル教員戰時勤勉手当補助千三十餘万圓、農林省所管ニ屬スル重要肥料供給確保應急施設費六百十餘万圓、國有林臨時斫伐費五百五十餘万圓、商工省所管ニ屬スル鋼材限定品種増産獎勵金五百三十餘万圓、内務、大藏、陸軍、司法、文部、農林、商工、逓信、厚生及ビ大東亞ノ各省所管ニ屬スル各種ノ災害費二千三百三十餘万圓、内務、大藏、文部、農林、商工、厚生及ビ大東亞ノ各省所管ニ屬スル金屬類特別回收諸費、千三百二十餘万圓等デアリマス

次ニ昭和十七年度各特別會計第二豫備金豫算ノ總額ハ四千四百七十餘万圓デアリマシテ、内豫算外ノ各費途ニ充用致シマシタル金額ハ朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳及ビ關東局ノ各特別會計ニ互リ、合計四千三百三十餘万圓デアリマス、尙ホ昭和十七年度ニ於テ、豫備金外ニ於テ其ノ國庫剩餘金ヲ以テ、豫算超過又ハ豫算外ノ支出ヲ致シマシタル特別會計ハ朝鮮總督府、臺灣總督府及ビ樺太廳ノ各特別會計デアリマシテ、其ノ總額ハ四千四百三十餘万圓ニ及シテ居リマス

以上各事項ニ付キマシテハ、各省所管ニ互リマシテ、各提出シテアリマスル支出計算書及ビ支出調書ニ、其ノ金額支出ノ事由等ヲ記載致シテアリマスルガ、尙ホ御質問ニ依リマシテ、御説明申上ゲルコトニ

致シタイト存ジマス、以上大體ノ御説明ヲ致シマシタ次第デアリマス

◎由谷委員長 本日ハ此ノ程度デ散會シタイト思ヒマスガ、次回ハ明後日ノ午後一時カラ開キマス、尙ホ是ハ公報ヲ以テ申上ゲマス、尙ホ御相談致シテ置キマスガ、只今政府カラ説明ノアリマシタ中ノ事後承諾ヲ求ムル件、即チ昭和十六年第一豫備金支出ノ件外五件ニ關スルモノデアリマスガ、是ハ成ベク早ク決定ヲシタイト云フ希望モアリマスルノデ、明後日ノ質問ハ出來ルダケ此ノ承諾ヲ求ムル件ニ集中シテ貰ハバ、促進上非常ニ結構ダト思ヒマスカラ、ドウゾ其ノ御含ミヲ願ツテ置キマス、ソレデハ是デ散會致シマス

午前十一時二分散會

昭和十八年二月十七日印刷

昭和十八年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局